



WEEKLY REPORT

No. 1538(第18回) 2019年1月23日(水) 点鐘:12時45分 於:勇屋会館

例会/毎週水曜日 12:45～ 例会場/勇屋会館 事務所/安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F
TEL0263(73)2901 FAX0263(72)3181 E-mail azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 小林繁則 幹事 田野陽子・二木正之

2018～2019年度 R. Iテーマ

インスピレーションになろう

R. I会長 バリー・ラシン



クラブ標語:「It is much More Important how to be good, rather than how to do good」

～ 1月は職業奉仕月間です ～

★ 配布

- ・幹事報告17号
- ・クリスマス家族例会会計報告
- ・第7回理事会報告

★ 会長挨拶 [小林会長]

ようやく冬らしい寒さになってまいりました。降雪は未だ少なく生活は楽ですが、インフルエンザの猛威が拡大しています。皆様も体調管理には充分に留意されて頂きたいと思います。



さて、手続要覧の読み合わせも(その6)になります。

手続要覧(その6)

中核的価値観(CORE VALUES)

2007年、ロータリーの戦略計画の一環として、以下の5つの価値観がロータリアンの基本的特徴であるとの理解の下、これらの中核的価値観を採択した。以来、これら中核的価値観は理事会によって再び認識され、世界中のロータリアンによって強く支持されている(ロータリー章典26.010.2.)。国際ロータリーの柱脚的価値観は以下の通りである。

- ・親睦(Fellowship)
- ・高潔性(Integrity)
- ・多様性(Diversity)
- ・奉仕(Service)
- ・リーダーシップ(Leadership)

中核的価値観に関する説明は、ロータリーウェブサイトを参照のこと。

四つのテスト(THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 行為と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

四つのテストは、1932年にロータリアンのハーバートJ.テイラー(後の国際ロータリー会長)により考案された(ロータリー章典33.070.)。

ロータリーの目的(OBJECT OF ROTARY)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の項目を奨励することになる：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、会社に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること(RI定款差異4条、国際ロータリークラブ定款第5条)。

五大奉仕部門(FIVE AVENUES OF SERVICE)

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的及び実践的な基準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕部門の第二部門である職業奉仕は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである(標準ロータリークラブ定款6条)。

以上、(その7)は次回へ。

★ 幹事報告 [二木正之 幹事]



◇出席

| | | | |
|--------------|------------|------------------|--------------|
| 会員総数 28 名 | | 出席免除会員数 2 名 | |
| 本日の出席率 | | 前々回(12月15日修正出席率) | |
| 出席者 : 8 名 | 欠席者 : 11 名 | 出席者 : 8 名 | 欠席者 : 11 名 |
| 欠席者 : 18 名 | メンバー : 9 名 | 出席率 : 30.76% | 出席率 : 92.30% |
| 出席率 : 30.76% | | | |

◇ニコニコBOX

小穴 : 遅刻しました。

[8件 7,720円]

今年度ニコニコBOX 計271,560円

★雑誌評論 小林繁則会員

今月は「職業奉仕月間」です。
横組み P 8 「職業奉仕 Vocational Service とは何か」



職業を通じた奉仕活動なのだから、たとえば弁護士さんが、無料相談をやる。あるいはお医者さんが、無料で診断する、そういうのが職業奉仕かと思っていました。しかしロータリーの本を読むと、そういうものは立派な行為けれども、職業奉仕ではなくて、むしろ社会奉仕だと書いてあります。中略

その中で職業奉仕の説明に、靴屋さんの例を引きます。世界中の靴屋さんが1か所に集まる。靴の製造器具とともに集まる。それが突然の天災で全部なくなったら靴なしで歩くことになる。はだして歩くのはたまりません。そのとき社会は、靴屋さんが如何に世の中に役立っているのか、職業を通じてサービス(相手のためになる行為)をしているのか分かるだろうと述べています。中略

トヨタ自動車について考えてみます。自動車会社での職業奉仕とはどういうことか。良い車を、運転しやすい、安全なユーザーのためになる車を、又環境にやさしい車を、適正な価格で販売する。それが職業奉仕だと考えます。仮に救急車などを寄付されるとします。それは立派な行為ですが、職業奉仕でなく社会奉仕に入るでしょう。中略

ご承知の通り、四つのテストがあります。これが職業奉仕を具体的にあらわしています。

中略、職業奉仕は、ロータリアン全員が自分の転職を通じてできる行為であり、四つのテストに具体的に表されている。

横組みP10 「ロータリーの本質は職業奉仕」の真意とは

「ロータリーの本質は職業奉仕にあり」とは、ロータリアンの誰もが口にするところです。では、その職業奉仕とはどんなことをする奉仕と聞けば、「自分の職業を生かして社会のために尽くすこと」と、型通りの返事が返ってくるのではないのでしょうか。中略

ロータリー哲学が常に磨かれてこそ、活動が生きる。中略、どのようにして磨くのでしょうか。それは言うまでもなく、毎週1回の例会に出席して、親睦の中にお互いの発想を交換し、切磋琢磨して自分を磨くのです。その自己研鑽の心は、アーサーF. シェルドンによれば、「利己と利他の調和」ということでしょう。中略

ポール・ハリスは「ロータリーの職業奉仕のことを一言でいえば、金銭に集中しないことである」と言っています。

P18 小諸ロータリークラブの活動紹介。

P32 第2600地区大会略報。

縦組みP4 「日本でいちばん大切にしたい会社」

「企業経営とは」という問いには、企業戦略の立案や実施よりも、はるかに重要かつ大切なことなのです。もっとはっきり言えば、経営戦略や経営管理ではなく、「企業はだれのものか」という考え方・見方こそが企業の盛衰を決定付けているのです。中略

目的を実行するための手段や結果だけを追求すれば、必ず誰かを不幸にしています。では、企業の真の目的・使命は何なのでしょう。結論から先に言えば、それは「企業に関係する全ての人々の永遠の幸せの追求・実現」です。

P17 全国「みなと」RC有志会員による友好交流会 七尾みなとRC 姥浦昭二

当クラブの友好クラブ「七尾みなとRC」の記事紹介。

P22 俳壇より

「弔問の客間をめぐる銀やんま」 佐久コスモス 中沢道保

P22 柳壇より

「成り行きという運命に賭けている」 大阪西 鴨谷瑠美子
すごく共感できる。

